

鑄銭司地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(平成28年度)

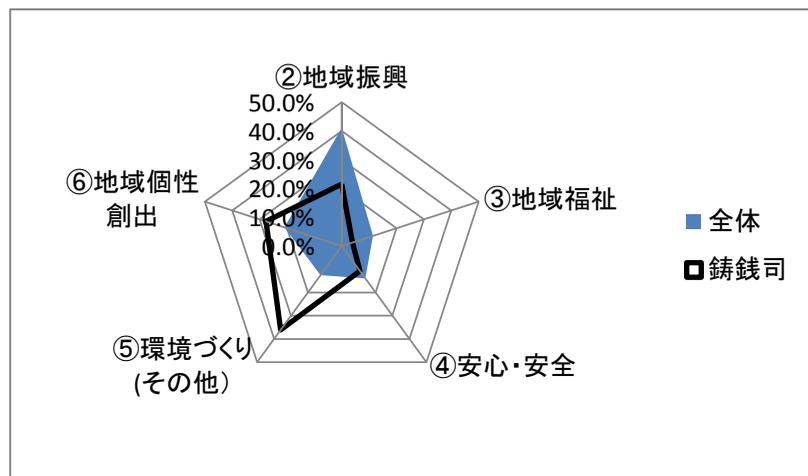
■地域の情報

地域人口	3,009人	自治会数	18
世帯数	947世帯	自治会加入率	82.05%

※数値は、平成29年4月1日のもの

■決算状況

交付金配分枠	10,945,000 円
交付金決算額	10,945,000 円
その他収入	160,376 円
交付金決算額／配分額	100.0%



各分野の決算

①協議会運営	3,922,981 円
②地域振興	696,403 円
③地域福祉	127,367 円
④安心・安全	349,462 円
⑤環境づくり(土木工事)	3,944,000 円
⑤環境づくり(その他)	1,169,098 円
⑥地域個性創出	896,065 円
決算総額	11,105,376 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう 明るい鑄銭司」の地域づくり計画の目標に沿い、共助の精神に溢れた地域づくりの推進。

■総括

第2次地域づくり5カ年計画の2年目であり、第1次計画からの継続事業については順調に実施することができた。新規事業においては、環境づくりとして、「笑顔いっぱい、花いっぱい、明るい鑄銭司」をキャッチフレーズに環境美化活動に取り組み計画通りに実施出来た。地域福祉分野では障害のある方を支援する「あいサポーター養成研修会」を開催し、自発的な行動につなげていく取組ができた。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務員人件費:事務局長1名 事務員3名 事務費
② 地域振興	広報誌の発行、ホームページ制作の検討、地域づくり功労者表彰、単位自治会長情報交換会、地域内の企業と住民の交流
③ 地域福祉	アイサポーター養成研修会、子ども寺子屋の開校、健康講座、健康ウォーキング
④ 安心・安全	防犯看板の設置、防災講習会・地区防災訓練の実施、交通安全啓発活動
⑤ 環境づくり	法定外公共物5件、単市土地改良3件、一戸一鉢運動、長沢池周辺の整備、陶ヶ岳藪椿整備、環境学習会
⑥ 地域個性創出	地域カレンダーの作成、「盆踊りの夕べ」開催、笠踊り伝承保存会
⑦ 特別事業	大村益次郎没後150年事業:講演会の開催、ゆかりの地「咸宜園開塾200年記念事業」参加

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	地域連携・交流事業	決算額	486,363円
	目的	単位自治会の活性化を図り、地域住民を中心とした支え合える地域づくりの実現。		
	実施内容	①ふるさとまつり等の各種行事支援 ②単位自治会長情報交換会 ③地域内の企業と地域住民の交流		
	実施時期	①11月 ②8月 ③1月		
	参加人数	①800人 ②26人 ③72人		
	成果	①地区最大のイベントである、ふるさとまつりを開催し、地区民相互の交流が図れた。また、祭りの中で地域功労者7名を表彰した。中山間事業の一環として県大生による益次郎豆腐を使った料理をふるまった。 ②避難勧告が発令された際、各単位自治会における対応や日々の防災活動について意見交換を行った。個々の自治会において取り組み内容に差があったが、良くできている自治会を参考にしようという意気込みが感じられた。 ③新年互例会を開催し、渡辺市長にも参加を頂き、大いに盛り上がりとともに地域内の企業と地域住民の交流が図れた。		
評価	①まつりで功労者の方々を広く紹介することができた。また、県大生による益次郎豆腐を使った料理を振舞い若者と地域住民の交流の場を設けることができた。 ②自主防災組織が作れていない単位自治会に、防災組織や緊急連絡網及び要支援者をどう避難させようかという動きが出てきて良かった。 ③地域内企業と地域住民との交流事業を継続することで、地域づくり活動への理解と協力が得やすくなる。			
今後に向けて	①地域づくりに貢献された方の表彰を続けていく。 ②単位自治会の連帯強化の為、単位自治会長情報交換会を継続する。 ③地域内企業と地域住民との交流事業を継続と参加企業の拡大を図る。			
②	事業名	教育・福祉関係事業	決算額	113,767円
	目的	地域コミュニティ強化による「自助・共助・公助」による住み良い地域づくりを目指す。		
	実施内容	①高齢者の集いや、福祉事業に対する支援 ②子育て支援(学び教室等)の実現に向けたシステムづくり		
	実施時期	①②通年		
	参加人数	①60人 ②300人		
	成果	①あいサポーター養成研修会を開催し、パラリンピックの正式種目であるボッチャを体験した。 ②子育てに関わる幅広い年齢層の参加者があり、就学前の子育てのポイントを事例を踏まえて学んだ。		
評価	①障害のある人を優しく支え、自分の意志で行動することを学べた。 ②自分の子育てを見直すことが出来たと好評であった。			
今後に向けて	①継続実施しながら更に内容を充実させていく。 ②子育てに関わる関係団体との連携を強め、子どもの健全な育成に関する活動を推進する。			
③	事業名	大村益次郎没後150年記念事業	決算額	366,060円
	目的	郷土の偉人大村益次郎没後150年事業を核として、鑄銭司の魅力を全国に発信していく。		
	実施内容	「大村益次郎」をテーマとした講演会の開催や咸宜園開塾200年記念事業に参加。		
	実施時期	12月～2月		
	参加人数	68人		
	成果	郷土の偉人「大村益次郎」の功績を顕彰することができた。		
評価	平成30年には大村益次郎没後150年を迎えることについて地域内外に告知することができた。			
今後に向けて	引き続き、大村益次郎の功績やゆかりの地や活用した地域づくりに取り組んでいく。			